



# プロフェッショナル・リテラシー

大学院共通科目(1単位)

# 開講

専門家が、グローバルにその力を発揮するには、自分の専門領域の深い学識と卓越した能力に加えて、関係者との協働ネットワークを創造発展させる能力が必要です。このような「PhDスキル」は、大学院生が多様な専門家や人々と広く交流し、協働する中で培われます。博士機構では、PhDスキル涵養の第一歩として、「プロフェッショナル・リテラシー」を開講します。大学院生の積極的な参加をお待ちしています。

履修対象

本学全大学院生

開講情報の確認、参加申込は下記のQRコードか、機構ホームページから



履修について

機構Webまたは右記QRコードより開催日時、場所を確認し、各回の参加申込をしてください。

基本的には自身の所属する研究科での開催日に受講することが望ましいですが、都合がつかない回について、他の研究科で受講することも可能です。

※本科目は所属研究科での履修手続きは不要です。

持参するもの

- 筆記具、ノート
- PCもしくはスマートフォン

- ✓ 教科書等の指定はありません(授業の中で適宜資料が配付されます)
- ✓ オンラインで回答してもらう場面があるので、ノートPCもしくはスマートフォンを持参できない場合は、ご相談ください

日程 2019年12月14日(土),21日(土)

教室 アジア法交流館  
レクチャールーム1

授業の目標

PhDスキルの重要性を理解し、その基本を習得する。

## 1 イントロダクション

各研究科や専攻で実施されるオリエンテーション

## 2 大学院生活を描く ▶12月14日(土) 1限

大学院生としてのスタートをきるにあたり、自身の目標や獲得すべきスキルについて自覚する。

## 3 論文を構築する ▶12月21日(土) 4限

研究論文執筆の準備として、論文目的に即し、書く必要のある情報を確認し、執筆プロセスや論文の構成を考えることができるようになる。

## 4 説明力を磨く ▶12月14日(土) 3限

アクティビティを通じて1分間でわかりやすく、かつ興味深く自分の研究内容を他者に紹介できるようになる。

## 5 公正研究のススメ ▶12月21日(土) 1限

自分の研究観を見つめ直し、他者と共有することで、公正研究の意義と意味を考え、また、身の回りに起こりうる問題の予防と解決のヒントを得る。

## 6 多様性で活力を上げる ▶12月21日(土) 2限

多様性の重要性を理解するため、ジェンダー(社会的性)を例に、性別によらず全ての人が活躍することによる社会の活性化の仕組みを知る。

## 7 心身を整える ▶12月14日(土) 2限

大学院生が学生生活を送るうえで有用な知識を獲得するとともに、ストレスや困難に対処できる力を身につける方法を体験し、今後の備えとする。

## 8 キャリアを設計する ▶12月21日(土) 3限

自分のキャリアプランを考えるにあたっての要点を知り、大学院生活をどのように活用していけばいいのかを理解する。

### ● 成績評価

上記1への参加、ならびに2~8の各回の授業におけるリフレクションシート及び最終レポートにより、可否を判定します。

最終レポート: 1~8の講義内容を踏まえて、自分にとって最も重要だと思われる PhD スキルを取り上げ、今後の大学院生活でどのように伸ばしていくかについて、200~300字程度で述べてください。

### ● 備考

- ✓ 上記1、2を最初に受講することを推奨しますが、履修順序は問いません。
- ✓ 学籍がある限りは受講履歴を学期をまたいで持ち越すことができます。
- ✓ 受講・レポート提出が7月15日までに完了すると当該年度春学期に、1月15日までに完了すると当該年度秋学期に可否判定が行われます。



名古屋大学  
博士課程教育  
推進機構

Doctoral Education Consortium

お問い合わせ・連絡先 博士課程教育推進機構

✉ e-mail : nu-hakase@adm.nagoya-u.ac.jp

🌐 URL : http://dec.nagoya-u.ac.jp